



ぼたる飛び交う中地区を目指して

～巴波川の清掃～

森田 弘

「中小から巴波川へ」のスローガンのもと、私達の会では巴波川の活動を昨年から行いカワナナの放流をしました。今年では自治会・各種団体・公民館の協力を得て、8月に中地区一斉清掃とき巴波川の堤防の清掃が行われました。中地区の皆様には暑い中大変お世話になりました。これからも巴波川の活動を続けていきたいと思ひます。

ぼたる飛び交う中地区を目指す運動の会には、「飼育班」「施設班」「広報班」「教育班」「式典班」があり5班が協力して活動していますが、継続することが何より大切なことです。今後も中地区をあげてこの活動を続け、自然環境の大切さを体験し発信してぼたるが飛び交う環境整備をしたいと思ひます。

多くの皆様のご支援ご協力をお願いします。



～テントの食堂満員状態～

賑わってふれあって観賞して

～「ぼたるを観る会」今年も盛大に～



～ぼたるかご作りで交流～

6月9日(金)・10日(土)・11日(日)の3日間『ぼたるを観る会』が行われました。

事前準備、ぼたるがたくさん飛ぶように…との願いを込めて「あいさつ通り」から入場門まで提灯飾り取付けて看板を設置しました。今年から**式典**は、3時ごろから開始し一旦家庭に帰ってから家の人と一緒に『ぼたるを観る会』に来ることになりました。大久保寿夫小山市長さんほか、県会議員・市会議員・教育委員・教育長さんなど多数のご来賓がおみえになり中小児童の研究発表で巴波川の水が以外にきれいになったことを知りました。**〇×クイズ**では、来賓の方々・PTA・家族と児童が交流しました。

イベントは5回目を迎え、昨年同様ビデオ放映・展示・ぼたる何でもコーナーが行われました。教育班の役員さん、PTA学年委員さんのご協力で行われた**ぼたるかご作り**も子供達に人気で大盛況でした。ここでは、ボランティアの役員さんに教わりながら、幼い子も小さな手で一生懸命に作っていました。児童とご両親、それから、おじいさんおばあさん達と難しい編み方を教え合うなどほほえましい交流が見られました。

新1年生も加わり、ますますパワーアップして大成功のうちに時間が過ぎていきました。

また、旧PTA役員さんや美田商工会の方々のご協力による**おいしい夜店**も行列が続き、大変な賑わいでした。心配された雨もやんで絶好のぼたる観賞条件がととのって何十匹ものぼたるが飛び交い参観の人々の目を楽しませました。

学校に子供のいない人たちや中地区外の人でも大勢来てくださいました。これは『ぼたるを観る会』が中地区全体の行事として定着してきた**証し**です。



夜店も大繁盛

ぼたるを観る会に参加して

～ 参会された方々の感想 ～



6年生の研究発表

- ★ とても素晴らしい発表会に感動しました。6年生の水質の研究大変良かったですね。
- ★ 中小学校活動に触れました。心やさしい教育の行き届いた学校ですね。とてもうれしかったです。
- ★ 式典での発表で巴波川が思う以上にきれいな川と知り、もっと環境問題を意識しながら生活しなければならないと思ひました。
- ★ 毎年中小学校の子供はぼたるを観ることが出来て本当に幸せです。私も毎年楽しみです。



- ★ 中小学校の皆様ありがとうございました。ぼたるの勉強を通してたくさんの方がぼたるを学びました。ぼたるの光は、忘れていた大切なものをたくさん思い出させてくれました。
- ★ ぼたるを育てるということから環境という問題まで発展させているご指導また地域の方々のご協力とても素晴らしいと受け止めさせていただきました。
- ★ 朝からの雨でぼたるが飛ぶか心配でしたがきれいなぼたるを観ることができました。かご作りは子供達の『作りたい。』という気持ちが素晴らしかったです。

～ 児童の皆さんの感想 ～

- ★ ぼたるがいっぱいいました。光がとてもきれいでした。 **1年**
- ★ ぼたるは知っているほうがきらきらひかりほしのようでした。 **1年**
- ★ ことはぼたるがとてもいっぱいとおぼれました。ぼたるがふえてうずま川にいっぱいとおぼれたい。この夢がげんじつになってほしい。 **3年**
- ★ ぼたるがたくさんいてとてもきれいでした。風がふくとどうじにはっぱがゆれてぼたるもいっしょにゆれていました。 **2年**
- ★ きょ年よりいっぱいとおぼれさまのようにきれいではっぱ、や土の上でぴかりぴかり、お友だちと話をしているようでした。おばあちゃんにぼたるかごのつくりかたをおしえてもらいました。 **2年**
- ★ ビオトープにぼたるが10匹きから15匹きいました。来年はもっと飛んでほしいです。 **4年**

- ★ イベントでほたるかごづくりビデオコーナーがありました。
ほたるのビオトープにいったら20ぴきくらいとんでいました。とてもかんげきしました。3年



- ★ 式典では6年生の発表をしましたが大きな声で発表することができたのでよかったです。
ほたるかご作りは友達や保護者の方に教わりながらやりました。順番を間違えぐちゃぐちゃになってショックでした。6年
- ★ 来年は私は卒業です。来年入学する1年生にも見られるよう今の5年生にがんばってもらいたいです。6年



ほたる一口メモ 松本 旭巧

～ほたるの脱皮～

ほたるの幼虫は成長するたびに脱皮します。他の昆虫類や甲殻類(カニヤエビ)のように表皮は硬いキチン質ですので、成長するには、着替えなければなりません。これが脱皮なのです。

ゲンジぼたるは7回、ヘイケぼたるは4回脱皮します。脱皮したばかりの幼虫は乳白色ですが数時間で黒褐色となります。

～ ほたるは大食虫 ～

ゲンジぼたるの幼虫は、成長段階に応じて大小のカワニナを40個も食べて成長します。生き物の平均的な食事の量は一日に自分の体重の3%といわれますが、ほたるの幼虫は一日で体重以上のカワニナを食べるほどの大食虫です。ゲンジぼたるの飼育には大量のカワニナが必要です。

ほたるの里親募集中！！

7月上旬、今年もほたるの幼虫が無事孵化し、ほたるの会飼育班・中小学校を中心にほたるの幼虫の飼育が始まりました。暑い夏を過ぎ、幼虫は今2～3センチに成長した固体も見られるようになり、来年のほたるを観る会で元気に飛翔する姿が待たれるところです。

そこでほたるの会では、地域の皆さんにもほたるの幼虫の飼育にぜひ挑戦していただきたいと思っています。

暑い夏の時期の水温管理はもう必要ありませんので、飼育もそれほど難しくありません。

飼育器具等もお貸しできますので、飼育に挑戦してみたい方は、どうぞ中小学校までご連絡ください。

連絡先:中小学校 教頭 佐藤茂男まで 38-0649

- ★ ほたるかごづくりは、一人でもすこしつくれたけれど、あとになるとむずかしくなったのでばあちゃんやお母さんに教えてもらいました。4年

- ★ ほたるを観る会はいろんな人でいっぱいでした。「中小学校は、ほたるの学校で有名なんだなあ。」と思いました。
「とてもきれいだね。」「しあわせだなあ。」という声が聞こえ、私達が一生けん命育ててよかったです。6年



手作りうちわで ○×クイズ！

今年は子供達が心を込めて作った「うちわ」が来賓の皆様とPTA各家庭に配られました。表には本会のシンボル、可愛いホタルンが描かれて○、うらは×です。このうちわを使って「○×クイズ」が行われました。ちょっと簡単な問題難しい問題も出題され、会場が盛り上りました。本当に素晴らしい交流がなされました。この手作りうちわはみんなの思い出の品となることでしょう。

ほたるの廃品回収 =ありがとうございました。=

「ほたるの会」の活動資金のための廃品回収がPTA・ほたるの役員さん達のご協力で夏休みに行われました。

役員さんが提供された軽トラで次々と善意の廃品が運ばれます。

各地区から集められた古新聞・雑誌等の量の多さに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

180, 360円の収益は有効にほたるの活動に使わせていただきます。大変ありがとうございました。

ポスター原画募集のお知らせ

毎年6月初旬に開催される「ほたるを観る会」。その開催を知らせるポスターの原画を広く地域の方々から募集いたします。

採用された原画については、来年度のポスターとして使わせていただきますので、どうぞ奮ってご応募ください。

規 格： B4サイズ～A3サイズ
画 材： 自由(クレヨン・絵の具) *コンピュータグラフィックもOK

応募期間： 平成19年1月末日〆切
応募先： 中小学校 教頭 佐藤茂男まで

☎ 38-0649

その他： 作品の裏には住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。

「うずまのほたる」第8号は、ほたるを観る会の式典・イベント・感想をメインに編集しました。ほたるの里親・ポスター原画募集については、皆様ぜひ応募してください。

<広報班>

田波耕太郎 田中 佐一 神山 芳典 山道 玲子 小林 まき
福田 昭枝 小川 智子 木村 優子 浮田 雅子 増田 真弓
青木 誠